



いわみ

# 議会だより



## 12月定例会

- 2 スtockヤードが完成
- 5 全員協議会で質しました
- 6 一般質問 8 議員が町政を質す
- 14 総務教育常任委員会行政調査報告
- 16 産業福祉常任委員会行政調査報告
- 18 成人式実行委員会の皆さんに聞きました

笑顔のVサイン  
みんな また集まろうで!

# ごみの一時保管場所 ストックヤードが完成



昨年6月から工事にかかっていたストックヤード

12月定例会を、12月20日から22日まで3日間の会期で開きました。  
一般会計補正予算など、15議案を町長提案通り可決しました。

## 主な議案の概要・質疑

### ストックヤードの設置及び管理に関する条例

資源ごみの一時保管、海岸漂着ごみなどの一時保留と分別、大型の可燃ごみの受け取りを行う施設として、1月末までに完成するストックヤードの設置と管理について定めた。

名称  
岩美町ストックヤード  
場所  
旧清掃工場跡地  
(浦富3081番地73)

### 一般会計補正予算

1億3296万円を増額し、予算総額を64億7127万円としました。

### 歳出の主なもの

情報通信施設管理運営事業費

433万円増額

ケーブルテレビ及びインターネットの新規加入者が増えたため、引き込み工事費を増額する。

テレビ  
20件増  
ネット  
50件増

今回の補正で、全体の接続数を、テレビ3478世帯、ネット1421世帯と見込む。

### 企業立地促進補助金

1050万円

(有)山本精機が行った設備投資や町内新規雇用に対して補助する。

### 地域活性化の拠点づくり事業

807万円

道の駅の公益性に鑑み、産業振興の役割を担う駅長の人件費と、地域振興施設の電気使用料のうち営利を伴わない公的な面積相当額を負担する。

### 問

道の駅は株式会社として営利活動の主体であるが、同時に、設立にあたって出資した町は、道の駅に農林水産、製造、観光などの産業振興の推進拠点としての公益性を

十分に発揮してもらおうために、支援するものだと思う。

支援は、開業当初の初期の支援、公益性にふさわしい恒久的支援、それから臨時的支援の3つに整理して行うものだと思うが、どうが。

答 駅長の人件費は、道の駅の目的の、町の産業振興の総括を担う施設、情報発信の拠点、町を訪れる道路利用者の利便を図るといふ、公益的な役割をしっかりと果たしてもらうため、今後継続して負担したい。

電気代は、経営の中で数年かけて公益部分の削減を図りながら、経営を圧迫しない観点で補助したい。

# 新年のごあいさつ

議長 船木祥一



明けましておめでとうございます。新春の幕開けにあたり、議会を代表してご

あいさつを申し上げます。

はじめに、昨年12月に、田後漁協所属の沖合底引き網漁船の痛ましい海難事故が発生し、関係者の方々にお見舞い申し上げます。

さて、昨年10月に鳥取県中部で震度6弱の地震があり、死者はありませんでした。約1万4千棟に及ぶ住宅の損壊がありました。

自然災害から自らの命を守るため、何をすべきか改めて考えさせられました。

地域の減災・防災力を高めるうえでは、人口減少は深刻な問題です。

一昨年の国勢調査では、初めての日本の総人口が減少し、本町の人口は11,485人で、前回と比べ、877人減少しました。

岩美町は、人口減少に打ち勝つため、「チャレンジする若者が集つまち」をめざして、地域創生総合戦略を官

民一体となって進めています。

住みたい田舎ランキングや、山陰海岸ジオパーク浦富海岸などの豊かな自然環境とともに、アニメ「Free!」の聖地巡礼などの効果もあり、多くの若者が町を訪れ、移住を希望する方が増えています。

今年には総合戦略を深化させ、昨年末に策定した第10次総合計画を、行政と町民のみなさんが連携して着実に進めることが重要です。

6月から豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」が運行されます。

停車する東浜駅の地元関係者の方々が、岩美町らしい心温まるおもてなしをしようと、準備に励んでおられます。

駅周辺だけでなく、町全体で岩美町の魅力をしっかりと情報発信したいものです。

岩美町議会は、町勢の発展のため、皆様の負託に応えるべく、まちづくりに取り組んでいく所存であります。

皆さまのご指導とご鞭撻をお願いいたします。

本年が皆さまにとりまして良い年となりますことをご祈念申し上げます。

## 第10次総合計画 基本構想

第10次総合計画は、29年度から10年間の計画。

総合計画は、町の計画の中で最上位。

10年後の人口目標を1万2000人、将来像を「みんながつながり、力をあわせ みんなの思いを実践するまち 岩美町く豊かな町を子どもたちにつなげる」とした基本構想を決定しました。

**問** まちづくりの課題に、参考として書かれている移住者や来訪者の意見は、計画のどこに反映されているか。

また、町民が頑張ることが必要だとする趣旨のことが書いてあるが、町民が関心を持って立ち上がり、力を発揮できる状況を作るために、行政は何をするかという視点が必要だ。

そこは、どうなっているか。

**答** 基本構想は、施策の方向性を定めるもので、具体的な事業は、実施計

画や各年度に行う事業を議会に諮りながら決める。まちづくりを町民に押し付けるものではなく、一緒に取り組もうというもの。

先の地域創生総合戦略や今回の総合計画の策定でも、多くの若者を含む町民の方々がまちづくり委員会を構成し、自主的に検討いただけた。今後、住民の意見を聞きながら一緒に取り組む。

町外の方の意見をどのように事業に反映できるか、今後検討したい。議会にも相談しながら実施したい。

## 農業委員会の委員等の定数に関する条例

法改正により、これまで公選制であった農業委員の選出が、町議会の同意を要件とする町長の任命制とされた。

また、農地利用適正化推進員が新設された。

これらの委員の定数を条例で定め、29年7月20日から就任する。

|             |     |
|-------------|-----|
| 農業委員        | 14人 |
| 農地利用適正化推進委員 | 6人  |

## 税条例の一部改正・国民健康保険税条例の一部改正

租税条約締結国から支払いを受ける配当などの所得は、個人町民税の分離課税、国民健康保険税の総所得金額の対象としているが、締結国以外の外国から支払いを受ける場合も、29年1月1日から同様の扱いとする。

## 12月定例会で可決された議案（12月22日採決・すべて全員一致）

| 議案名                                     | 議案名                  |
|---|----------------------|
| 第10次総合計画基本構想                            | 農業委員会の委員等の定数を定める条例   |
| 鳥取県町村職員退職手当組合の共同処理する事務の変更及び組合同約の変更      | ストックヤードの設置及び管理に関する条例 |
| 鳥取県町村消防災害補償組合の解散                        | 税条例の一部改正             |
| 鳥取県町村消防災害補償組合の解散に伴う財産処分                 | 国民健康保険税条例の一部改正       |
| 町村等の非常勤職員の公務災害補償等に関する認定委員会及び審査会の共同設置の廃止 | 28年度一般会計補正予算         |
| 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の廃止         | 28年度国民健康保険特別会計補正予算   |
|   | 28年度集落排水処理事業特別会計補正予算 |
|   | 28年度介護保険特別会計補正予算     |

## 陳情審査結果

| 件名  | 結果  | 賛否の状況 | 不採択理由  |
|---|-----|-------|--|
| 「合特法」に基づく「代替業務」の陳情について<br>提出者：岩美町高山6番地1<br>協同組合岩美町環境事業公社<br>理事長 田中清一 ほか2名 | 不採択 | 全員一致  | いずれの陳情者も、一般廃棄物収集運搬業の許可を受けていない者であり、「合特法」が規定する業者に該当しない。                      |
| 「合理化事業計画」の策定についての陳情書<br>提出者：同上  | 不採択 | 全員一致  | 上の陳情で述べた理由に加えて、町は、し尿収集を安定的に行うための計画である一般廃棄物処理計画を毎年策定しており、廃棄物処理行政を円滑に実施している。 |

**賛成** 田中克美議員  
議会は、議員の報酬等を第3者による特別職報酬等審議会に委ねることを、全員一致できめた。期末手当の引き上げ答申は、同審議会が、議員や議会の活動状況を踏まえて出した結果であり、その答申を尊重すべきである。

**反対** 杉村宏議員  
前期議会の議会改革報告（25年）は議員報酬、議会中継などを改選後の検討に委ねている。報酬、手当も含めて検討が未着手のまま、手当をアップすることには自戒の意味で賛成できない。

### 討論

議員の期末手当の支給月数を、特別職の職員の給与に関する法律に準じて、町特別職と同様に、3・15月から3・25月に0・1月引き上げました。

岩美町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

11月24日臨時会

## 11月臨時会で可決・承認された議案（11月24日採決）

| 議案名                             | 賛否の状況  |
|---------------------------------|--------|
| 28年度一般会計補正予算（専決処分）              | 全員一致   |
| 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正            | 全員一致   |
| 職員の給与に関する条例の一部改正                | 全員一致   |
| 岩美町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 | 反対：杉村宏 |
| 28年度一般会計補正予算                    | 全員一致   |
| 28年度国民健康保険特別会計補正予算              | 全員一致   |
| 28年度介護保険特別会計補正予算                | 全員一致   |

議会は27年、議員の報酬、期末手当の検討を、町長が設けた特別職等報酬審議会に委ねました。その経過は次のとおりです。

▽26年11月27日 総務教育常任委員会（全員一致）  
▽26年12月1日 議会運営委員会（全員一致）  
▽26年12月4日 全員協議会（全員一致）

▽27年2月9日 第一回審議会に諮問  
▽27年11月20日 全員協議会で答申の報告を受けて協議し、尊重することを確認（全員一致）

# 12月8日 全員協議会で質しました

トワイライトエクスプレス「瑞風」の乗客の観光について

食材も町内産を使うことがはっきりしていない。  
レストランは町が提供する。

し課題を抱えている。広域消防の対策の充実が必要だと思うが、町としての要望はどうか。

して、体制の強化を望んでおり、消防職員は若干だが増やしてきている。

**町消防団組織の見直しを予定(29年3月議会で条例改正)**  
団員定数を70名削減(576名から506名にする)。  
ただし、駅前、浦富、大岩の3分団は維持。

**答** 昭和53年に広域消防がしかれ、火災、救命救急の充実がはかれたと思う。

**問** 団員の処遇改善は以前からの課題だが、新年度予算には反映されるべきだと思うがどうか。

**問** 広域の常備消防と消防団の非常備消防を、あわせて考えることが必要だ。

**答** 29年度にむけて、団員報酬本体以外のところで、内部検討をすすめており、担当任意委員会に相談したい。

**問** 団員の処遇改善は以前からの課題だが、新年度予算には反映されるべきだと思うがどうか。

**問** 居住可能な96軒のうち、空き家登録システムにいくら登録されているか。

**問** 地引網ができない期間は、鳥取市内観光が考えられていると説明があった。

**答** 私たちも、まったくそうだと思う。地引網ができないとき、JRはどんな天候でもできる観光を考えているようだ。  
町としては、町内滞在と町内産品の使用を求めていく。  
提案しているが、まだJRが採択するまでになっていない。  
頑張りたい。

## 空き家対策に関する町条例の設定を予定(29年3月議会)

**問** 町の空き家調査から居住可能な空き家が増加している。  
空き家に対する方針を明確にする。

**答** 28年春から登録要請の通知を送っている。新たに9軒登録があり、うち3軒に入居した。現在の登録は14軒だ。

\* 特定空き家については、助言から代執行(解体・除去)まで行える規定を設ける。

**問** 特定空き家の認定要件を広げることがすべきでないと思うが、町は広げる考えはあるか。

**答** 法律の規定通りでと考えている。



消防団出初式の一斉放水(29年1月9日)



トワイライトエクスプレス瑞風

### 住みたい田舎ランキング1位 を守れ

澤治樹議員

### 総合戦略を着実に取り組む

榎本町長



澤治樹議員

地元で生まれ、育った中学生や日本一の町に通学している高校生に、日本一になれた理由や町の現状を理解してもらう必要がある。

澤 「田舎暮らしの本」2016年2月号で本町が全国1位に選ばれた。

町長 「まちづくりの基本目標に「まちづくりは人づくり。教育のまち」を掲げて取り組んできた。



田舎暮らしの本（宝島社）の「2016年住みたい田舎ベストランキング」で総合第1位に選ばれた

町長 今後も、「特色ある学校づくり」などの授業を通じて、小・中学校、また岩美高の地域おこし協力隊の協力もいただき頑張っていく。

きめ細やかに自配りをしながら積み上げていくことが必要だ。

澤 ランキング1位を守るため、新たな空き家

登録支援や就労支援が必要である。

町長 ランキングにはあまりこだわらない、という姿勢であることを、理解いただきたい。

人口減少に立ち向かうための本町の総合戦略を、しっかりと着実に取り組んでいく。

### 外国人観光客への対応の充実を急ぐ

澤治樹議員

### 新しい媒体による取り組みを強める

榎本町長

澤 日本を訪れる外国人観光客は増えており、本町でも、外国人宿泊者が増えている。

観光パンフレットや案内看板の外国人観光客対応を伺う。

町長 町が作成している浦富海岸ジオサイト、アニメ「Free!」マップ、ジオパーク推進協議会のパンフレットは、多言語で作成している。

案内看板は、英語併記をしている。

観光会館でのタブレットによる通訳、鳥取市と東部4町に新温泉町と香美町を加えた1市6町での広域観光連携による観光アプリの「DIGJAPAN!」など、新しい媒体による取り組みをさらに強めていく。

### 避難訓練の内容は適正か

澤治樹議員

### 自主防災組織の方々と課題を見出す

榎本町長

澤 避難訓練を毎年行っているが、内容に課題はないか。

町長 職員自身の身を守る行動とともに役場来庁者の安全確保、地震発生を町民に知らせる仕組みについての課題が残った。

また、学校、保育所での避難行動は、一次避難と次の対応について共通認識を持つことが重要であると思っている。町内の自主防災組織の方々と改めて反省点、課題を見出していく。



岩美西小学校の防災避難訓練

## 熊の被害防止にどう取り組むか

杉村宏議員

## 広域的に対応する必要がある

榎本町長



杉村宏議員

起の緊急放送を行い、餌となるものを家の周りに置かないことをお願いした。

目撃の通報を周知することや、消防団による夕方の警戒、警察の夜間パトロールなども実施した。

**杉村** ツキノワグマの出没で、町民から不安の声を多く聞いているが、近年の目撃、捕獲、人身被害件数はどうか。

**杉村** 捕獲に有効な箱おりの設置数はどうか。

**村島産業建設課長** 目撃は、26年度11件、27年度7件、28年度21件だ。

捕獲は、26年度7件、27年度6件、28年度は15件で、その内の2頭が有害許可を出した捕獲だ。

人身被害は、28年度2件だ。

**杉村** 被害発生後、対応はごうとられたか。

**町長** 地域には、注意喚

**杉村** ツキノワグマを対象にした自治体もあるが、鳥獣被害対策実施隊を設置する考えはないか。

**産業建設課長** 実施隊の役割は、イノシシや鹿などの農業被害を対象として駆除する目的を担うもので、ツキノワグマは対象としていない。周辺の市町に確認したい。

**杉村** 熊には県境がない。因但県境自治体会議などで、均一的な対策を協議、検討はしないのか。

**町長** 町としては、ツキノワグマ保護計画そのものを全面的に改定してほしいと県へは要望している。鳥獣対策として、広域的な対応が必要であると感じている。



有害捕獲許可を得て捕獲した熊（荒金地内）

## 耐震シエルターへの補助を検討せよ

杉村宏議員

## 前向きに検討を進めたい

榎本町長

**杉村** 震度6強から7程度の地震で、建物が倒壊しないことを目標とする昭和56年の新耐震基準以前の棟数はどれくらいか。

**杉村** 県は、耐震改修の補助制度拡充の中で、耐震シエルターを対象とするようだが、耐震ヘッドも含めて検討してはどうか。

**長戸総務課長** 3546戸で全体の62・6パーセントだ。

**町長** 耐震改修をもっとPRする中で、補助率の見直しも含め、前向きに検討したい。

**杉村** 震災に強いまちづくり促進事業補助金の活用実績はどうか。

**総務課長** 20年から28年までの状況は、診断9件、設計9件、改修0件だ。

**杉村** 補助制度の利用が進まない理由をどう捉えているか。

その他の質問

アニメロケ参考地活用について

**総務課長** 改修に係る個人負担が大きいのが、理由ではないかと分析して

ふるさと納税について

### 教科担任制の導入を

日出嶋香代子議員

### 教職員数確保が困難

寺西教育長



日出嶋香代子議員

**日出嶋** 小・中学校でのいじめ、不登校、問題行動のある児童・生徒の現状と対応はどうか。

**教育長** いじめは、11月末現在で小学校12件、中学校1件で、各学校が指導している。

長期欠席はないが、欠席した例はある。問題行動事例は、小学校9件、中学校12件で、生徒・保護者を交え指導し、県教育委員会に報告した。

**日出嶋** 校長・学校一丸になり、子供、保護者の思いを踏まえかわって

ほしい。

教育長は先生と一緒に行動することはあるか。

**教育長** 校長のリーダーシップのもと解決にあっている。

いじめの防止基本方針を公表し、全職員で情報交換し防止に努めている。参加している。

**日出嶋** 先生方は多忙だ。先生のゆとりの現状はどうか。

**教育長** 教職員が子供と向き合う時間の確保は大切だ。

27年度の年次有給休暇は、小学校平均8日ほどで、県内平均並みの取得だ。

**日出嶋** 男性の先生で、育児休暇をとっているか。

**教育長** 今年度はない。

**日出嶋** 県事業で教科担任制がある。

先生の負担を軽減し、中学1年生のギャップ解

消に力を発揮する。導入を考えないか。

**教育長** 教職員数確保が必要で、難しい。

3校の児童が集まり、中学校の体験入学、生徒

会や部活のことを聞くなご、中1ギャップの解消に、先生方には努力していただいている。

**日出嶋** 保護者が相談しやすくするため、スクールカウンセラーの相談室を、校舎外に設けてはど

うか。

**教育長** 校舎外に設けることは考えていない。

生徒のために、学校に相談室を設けている。保護者に使っていたらいい結構だ。

### 食の安全は国の役割

榎本町長

### TPPで食の安全は守れるか

日出嶋香代子議員

**日出嶋** 食の安心・安全を、学校給食の安全を守るためにTPP（環太平洋連携協定）をどうとらえるか。

**町長** 食料、食品は、検疫協定に基づき、チェックする役割を国は果たす必要がある。

町民や給食を食べる児童・生徒の健康をどう守っていくか。

**町長** TPP協定で、食品などの安全性審査を含め、日本の食の安全・安心の制度変更はない。基準が厳しい国に、緩やかな国の基準のまま輸入してはならないし、できない。

**日出嶋** TPPにより、外国から安価な食品や農産物が輸入される。

安価な食品は発がん性リスクが高く、成長促進剤は人体に影響がある。

### その他の質問

今後の基金運用について



人権について考える (岩美中学校)

## 総合運動場にテニスコートを整備せよ

田中伸吾議員

### 現在考えていない

榎本町長



田中伸吾議員

**田中** 年間一万一千人以上が利用をしている総合運動場の駐車場の不足している。

広げるべきではないが。

**町長** 外周道路の駐車は極力避けなければいけないため、中央公民館や役場の駐車場の利用をお願いしている。

駐車場の拡大は現在考えていない。

**田中** 町内ではテニスコートが不足しているため、総合運動場にテニスコートを設置してはどうか。

## 小学校も早くエアコンを設置せよ

田中伸吾議員

### 考えていかなければならない問題と認識している

寺西教育長

**町長** テニスコートは、ハードコートからクレーコートに移し変えてきた経緯がある。

整備は現在考えていない。

これからは、種目によっては、鳥取市と連携を図ることが必要と考えている。

**田中** 児童生徒に適切な環境で勉強してもらいたいと思っている。

中学校にはエアコンが設置されているが、小学校での授業中の暑さ対策はどのようにしているのか。

**教育長** 小学校では、扇風機とサーキュレーターを設置している。

また児童玄関に、給水機を配置して自由に利用できる。

**田中** 中学校のエアコン設定温度は何度か。

小学校で扇風機などで対応できないときは、どうしているか。

**教育長** 中学校の内規で、設定基準においてスイッチを入れている。

小学校では、図書室、多目的室のエアコン設備

がある部屋で、学習を行うなどの対応をしている。

**田中** 教育の町岩美町として、授業に集中できる教育環境を作るべきだ。

小学校にもエアコンを設置して、学習環境を整えるべきだと思うが、どのように考えているのか。

**教育長** 小学校のエアコン整備については、自然

環境や近隣の市町村の様子をふまえて、今後考えていかなければならない問題だと認識している。



エアコンが整備されている中学校の授業

### 避難所マニュアルを早急に作成せよ

芝岡みどり議員

### 指摘を踏まえしつかり取り組む

榎本町長



芝岡みどり議員

【総務課長】多くの職員が情報を共有し、システムを見れば町内での状況がわかるようにしたい。

【芝岡】早急に避難所マニュアルを作成し、避難所を支える体制を整えてほしい。

【町長】指摘を踏まえ、しつかりと取り組んでいきたい。

【芝岡】避難所運営マニュアルの作成状況はどう

【芝岡】今後システムの運用、活用はどう取り組む

【芝岡】避難所運営マニュアルの作成状況はどう

【芝岡】早急に避難所マニュアルを作成し、避難所を支える体制を整えてほしい。

【町長】指摘を踏まえ、しつかりと取り組んでいきたい。

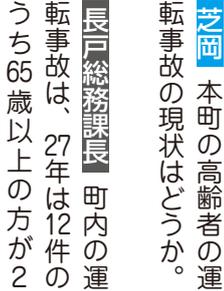
【芝岡】避難所運営マニュアルの作成状況はどう

### 運転免許証の自主返納者を支援せよ

芝岡みどり議員

### 研究し取り組む

榎本町長



榎本町長

【芝岡】本町の高齢者の運転事故の現状はどうか。

【芝岡】交通不便地域に住む高齢者などの移動手段として公共交通の必要性、重要性は増大するが、持続可能な公共交通を確保できるか。

【町長】高齢者の方の移動という点を考えると福祉事業の一環と位置づけなければならぬ状況になっている。

【芝岡】運転免許証を自主返納された方への支援制度を実施し、高齢者の移動手段を考えるべきではないか。

【芝岡】これまでからバスの通らない地区の65歳以上の高齢者の方にタクシーの利用券のお渡しや、高齢者移送サービスの実施を行っている。

【芝岡】本町の高齢者の運転事故の現状はどうか。

【芝岡】交通不便地域に住む高齢者などの移動手段として公共交通の必要性、重要性は増大するが、持続可能な公共交通を確保できるか。

【町長】高齢者の方の移動という点を考えると福祉事業の一環と位置づけなければならぬ状況になっている。

【芝岡】運転免許証を自主返納された方への支援制度を実施し、高齢者の移動手段を考えるべきではないか。

【長戸総務課長】24年6月に導入したが、システムの稼働の確認までで、システムを使った避難訓練

【芝岡】被災者台帳、被災者支援システムの活用状況はどうか。

【町長】速やかに避難する訓練や、住民の力を発揮する訓練を取り入れること、要支援者を避難誘導する困難さ、とりわけ夜間での誘導の難しさなどの意見があった。

【芝岡】防災訓練に参加した町民の意見・要望を把握しているか。

【芝岡】今後システムの運用、活用はどう取り組む

【芝岡】避難所運営マニュアルの作成状況はどう



避難所運営研修会での図上訓練の様子

## 持続可能な農業をつくれ

川口耕司議員

### 国県の制度を活用し、拡大継続させるよう取り組む

榎本町長



川口 耕司議員

る仕組みも必要だ。  
中山間地域等の直接支払制度や、多面的機能の支払制度などが縮小傾向にあるが、拡大継続させるように取り組んでいく。

**川口** 中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる団体は、東因幡をはじめ9団体と、認定農業者1名だ。しかし、協定締結面積は、1団体を除き減少してきている。

特に、農業再生条件の不利な農用地が、協定締結面積から外されているのが現状だ。

耕作放棄地の発生防止と対策をどうするのか。

**町長** 集落営農と認定農業者では、協定面積の維持が不可能な状況になっている。さまざまな制度を活用して、兼業や退職した人たちが支えていけ

計画の全体見直し作業の進捗状況はどうか。

**産業建設課長** 現在、計画書および基礎資料の作成を行っているところだ。

来年1月に、農協、森林組合、土地改良区など関係機関との意見照会

を行い、それを受けて農業委員会へ意見照会をさせていた。また、県の農業振興課との事前協議を行う予定だ。

2月に計画案の公告縦覧、3月には異議申し立て期間を設けて、4月には計画決定の公告を行うたい。



多面的機能の支払制度を活用した地域の農地維持活動（黒谷地内）

## 奨学金の償還を免除せよ

川口耕司議員

### 今すぐにはならないが、よく検討したい

榎本町長

**川口** 本町の奨学金貸付制度は、昭和40年に設置され、高校、短大、大学など1798件に貸付し、若者の人材育成に大きな役割を果たしてきた。

今や、若者の定住、地域の活性化などを考慮し、給付型の奨学金制度に取り組む自治体も、全国では増えてきている。

大学卒業後、本町に帰って定住、就職した場合に、奨学金償還の一部、または全額を、免除する制度を設けるべきだ。

**町長** 本町が奨学金制度を始めた昭和40年当時は、他市町はやっていなかった。

貸し付けた金額は、延べ5億5131万円余である。現在、約2億円で運営している。

本主に長い間努力して

きたと思っている。

大方の高校生が大学に進学する高学歴社会になり、社会全体が人材を求めている。

今すぐにはならないが、時期や規模、金額などよく検討し、議会と町民も理解・納得できる制度にしたい。

### その他の質問

熊の出没対策について

### 神奈川県大磯町との交流を推進せよ 寺垣智章議員

#### 何を目的に交流していくのか 検討が必要 榎本町長



寺垣智章議員

まれたエリザベス・サンダース・ホーム、現在は聖ステパノ学園（小・中学校）の生徒と交流を保持したり、話を聞いたり、澤田美喜記念館の見学を毎年行っている。

さらに、交流を町民レベルに広げていくことは大切だと思うが、何を目的に交流を行うのか考える必要があると思う。

**寺垣** 町内では、以前からアニメ「Free!」で盛り上がり、若い女性をたくさん見かける。テレビの影響は町にとって大変大きなプラスになっている。NHKの朝の連続テレビ小説（朝ドラ）ゆかりの地では観光客でにぎわっている。

NHKの朝ドラの誘致活動が高まっている状況でもあり、今後計画的にまた戦略的に、第2の

**町長** 12年から岩美中学校の修学旅行は東京に出かけている。その日程の中で、美喜先生が取り組

「Free!」現象を起こしていく必要がある。澤田廉三さん美喜さん

夫婦やエリザベス・サンダース・ホームを題材とした、ドラマや映画の誘

致活動を大磯町と協力して取り組みをされる考えはないか。

がら、この誘致にも取り組んでみたいと思う。



エリザベス・サンダース・ホームが臨海学校を行った熊井浜

**町長** 県内でも、ロケ地を誘致する取り組みはある。

しかし、大河ドラマについては非常に困難だ。交流の部分を模索しな

#### 消防団装備の更新計画はあるか 寺垣智章議員

#### 年次的に更新するよう努める 榎本町長

**寺垣** 町消防団消防ポンプ積載車一覧を見ると、古いものでは30年を経過する小型ポンプもあり、部品の製造が終了しており、修理できない場合がある。

**町長** 積載車が22台あり、このうち20年から29年までの古いものが合計17台ある。団の編成をしっかりと見極めながら、装備についても順次更新をしていきたい。

第9次総合計画、29年度からの第10次総合計画には、消防団の編成見直し、消防ポンプや積載車などの更新を、計画的に行うという記述がある。

近年更新が行われていない消防団の装備の、更新計画があるか。

# 地震地域係数の見直しが必要

田中克美議員

## 県にも見直しを言いたい

榎本町長



田中克美議員

**田中** 熊本地震では、避難所になっている、耐震工事が完了していた公共の建物が使用できなくな



災害時に対策本部が設置される  
岩美町役場

地域係数は1・0だ。建築基準法改正以降の建物は78棟、改正以前の建物は41棟だ。

**田中** 地震災害時の避難所、対応の拠点になるような公共施設は、少なくとも見直しが必要ではないか。

**町長** 岩美病院や南小学校などは引き上げている。

## 部落差別の解消推進法はしっかりと見極めて対応せよ

田中克美議員

## 見極めながら対応していきたい

榎本町長

**田中** 部落差別の問題は、部落の存在自体をなくすことが目標である。

部落が存在し続けることを前提にした恒久法で対応すべきではない、と思うがどうか。

**町長** 個人的には、時限立法でも可能な気持ちは持っている。

県にも見直しをするよ、言っていきたい。

### \*地震地域係数

その地方における過去の地震の記録に基づく震害の程度、及び、地震活動の状況その他、地震の性状に応じて国土交通大臣が1・0より0・7までの範囲内で定めた各地域の地震係数。

熊本市は0・9、鳥取県は、東部の1市4町が1、それ以外は0・9となっている。

**田中** 法律には、そもそも部落差別の定義がない。

法律のかなめ中のかなめの、言葉の定義がない法律を発動できるか。

**町長** 定義がないのはそうだと思う。

今の段階で町が対応する部分を、明確にとらえていない。

**田中** 特別対策のための時限立法としてきたことが、特別対策を廃止したことが間違っていたか、あるいは、廃止後に恒久法を制定しなければならぬほど事態が悪化したか、証明がなければ発動できない、と思うがどうか。

**町長** これまでの時限立法を特措法で対応し、あるいは廃止し、一般対策に合流させた。

今回の法律には、理念法ということが明確に書いてある。

その理念法で何を市町村の責務でやらせるか、しっかりと見る必要があると思う。

**田中** 差別解消のために、具体的対策を講じるようになる。

被差別部落出身者であることを理由に、差別された人を対象に、実態調査をしなければならぬが、行政がやれるか。

**町長** できる調査、すべきではない調査をしっかりと見極め、適切な判断

をしながら対応したい。

**田中** この法律に基づいて行動するのは町行政だ。しっかりと見極め、認識をして対応してほしい。

**町長** 町民の皆さんの福祉の向上につながる、本当に差別がなくなる、そして差別が起こることがないようにする取り組みである部分を、しっかりと見極めながら対応していきたい。

## 総務教育常任委員会

### 熊本地震における被害状況、防災対策の参考にするための調査

調査日 28年10月26日

調査先 現地踏査

(熊本城・益城町)

#### 目的

熊本地震における被害状況の踏査。

#### 内容

熊本城の地震における被害は、報道などの映像で見えていたが、あらためて現地で見ると、歴史的価値のある建造物の無残な姿を見るのは非常に忍びなかった。

しかしながら、県内外からの小学生や中学生、観光客も多くみられ、まわりから熊本城の復興の力添えになっていると感じた。当常任委員会も微力ではあるが、熊本県内に宿泊した。  
益城町は、自動車を通りながらの調査になっ

たが、まだまだ復興が進んでいないと感じた。

民家は、解体中や手つかずのまま放置されているなど、まだまだ元の生活に戻れない状況であるとう想像できた。

#### まとめ

鳥取県中部地震は、行政事務調査日程決定後に起こったが、熊本地震の被害の大きさを目の当たりにして、日頃からの防災対策や避難訓練の実施など、危機管理の重要性が必要である。

また、町内でも町民一人ひとりの防災意識の向上が、まだまだ必要であろうと感じた。

### 「芸術がある町」づくり事業、「コミュニティーバス（地域公共交通）施策の取り組みの調査

調査日 28年10月27日

調査先 鹿児島県湧水町



町内の各所に彫刻造形作品が展示されている。  
(湧水町・いきいきセンターくりの郷前)

#### 目的

本格的な県立野外美術館「霧島アートの森」を有し、彫刻造形展やチェンソーアート大会を開催するなど、芸術のまちづくりに取り組んでいる。

発展経過や取り組み状況を調査する。

また、200円で乗車できるコミュニティーバスを運行しており、地域公共交通に関する課題や運営状況を調査する。

#### 内容

▽「芸術がある町」づくり事業について

▽コミュニティーバス（地域公共交通）施策について

#### まとめ

豊かな自然、景観などの地域資源を活用して県が整備した音楽ホール、野外美術館を中心に「芸術の森」文化ゾーンが形成されている。

その中で彫刻造形展やチェンソーアート、町内各所への作品の屋外展示など、「芸術がある町」づくりに積極的に取り組

んでいた。

開園当初から町職員1名を常駐させ、県職員と共に連携を図り芸術がある町づくりを進めている。

「宿泊は近隣の霧島、人吉には勝てない。」との言葉が、印象的であった。

そういう状況認識のなかの職員派遣であり、町が特色づくりに力を入れていることを感じた。

また、チェンソーアートは、継続してその道のプロを呼び交流人口の増に貢献している。

町内のいたる所に展示してある作品の材料は、周辺の山から切り出して活用しており、山の整備にも貢献している。

バス運行事業は、どこも大変苦慮している。通学や通院利用の少ない休日の運行を観光地めぐりに変更、高齢者の運転免許証自主返納者への無料乗車（返納書を提示）などの取組みは参考になったが、運賃収入と利用者は減少傾向との問題点もあった。

## 移住定住対策、空き家対策について調査

調査日 28年10月27日

調査先 宮崎県高原町

### 目的

空き家登録の充実が評価され、平成28年2月住みたい田舎ベストランキングで全国18位、九州南部エリアでは1位となっている。

移住定住対策と空き家対策について、課題や取り組み状況を調査する。

### 内容

▽移住定住対策について  
▽空き家対策について



高原町の移住定住対策について調査

### まとめ

移住定住対策の参考になった点は、お試し滞在宿泊助成事業、町観光協会宿泊施設への宿泊費助成。

レンタカーの利用料金負担。

移住者への支援として、住居地の自治会加入者に、条件付きで30万円の移住定住支援金を分散交付している。

その中に商工会発行の商品券を支給することは、相乗効果があるようだった。

移住定住対策について、近隣の人口増事例として、都市との境に宅地造成し、人口が増えた地域があると説明があった。

都市への利便性が高いと判断された場所には、土地への需要はおおいにあり、人口増若しくは人口減対策となると感じた。

## 移住定住対策、空き家対策について調査

調査日 28年10月27日

調査先 鹿児島県さつま町

### 目的

危険空き家の解体撤去に係る経費の一部を助成、空き家などの適正管理に関する条例を設定し、積極的に空き家対策に取り組んでいる。

また、様々な移住定住対策にも取り組んでおり、空き家対策とともに、その課題や取り組み状況を確認する。

### 内容

▽移住定住対策について  
▽空き家対策について

### まとめ

交通環境が良く、大規模な企業を中心に、製造業社が多数進出している。

町民の給与収入が安定しており、町民の住宅取得意欲も高い。

空き家対策については、条例に基づき協議会を設置し、対策と計画の策定、事業計画と、取り組みの実施が進んでいるように感じた。

空き家見守りサービスをふるさと納税の返礼品とされている。

見回り点検などをシルバー人材センターに依頼するもので、参考にすべき事例だと感じた。

各自自治体にそれぞれの問題があり、それに向かって取り組みをされている。

町民と自治体が同じ問題意識をもって解決し、それに合った政策を持ち、近隣との差別化を図っていかねばならないと感じた。



さつま町の空き家対策について調査

## 産業福祉常任委員会

### 病院、患者・家族、地域がつながった地域医療の取り組みを調査

調査日 28年10月26日

調査先 滋賀県東近江市

「永源寺診療所」

#### 調査の目的

岩美病院では退院後の入院患者に対し、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ（病院が搬送）を行っている。

また、在宅医療を受けている患者を対象にした地域ケア会議を2週に1回、行っている。こうした取り組みで病院と在宅支援がつながり、入院患者と退院後も密接にかかわることができる。

岩美病院の在宅医療のさらなる発展と、市民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、病院と家族・患者のつながりに、地域が加わることができたらという問題意識から、患者・

寝たきり

や認知症であつても、

また老夫婦、

一人暮らしであつても、

在宅で生活

することは

可能。その

ためには、

医師、看護

師、薬剤師、

リハビリス

タッフ、ホームヘルパー、

デイサービススタッフ、

ケアマネージャー、行政、

家族、近所の方などの多

職種連携が必要。

このつながりが「チー

ム永源寺」。チームが「地

域」を支えることで、認

知症の一人暮らしや老老

介護もできている。

サービスの提供者は、

患者の生活と身体の一

面しか見えていない。みん

ながトータルに見ること

ができるように、サービ

ス担当者会議を月1回開

き、患者一人ひとりにつ

いて検討している。

患者さんの望みは、「年

老いても、自分らしく過

ごしたい」ということ。



チーム永源寺の会議 (第39回)

今の子ども達は、身近な「人の死」も「老・病・死」を経験することも少ない。在宅医療は、高齢者が「生きる」ことを若い人達に伝える機会。

親子の思いやり、家族のつながりの大切さを、次の世代に伝えていきたい。地域まるごとケアがめざすことは、30年、60年後も安心して生活できる地域づくり

地域医療とは、医療を通じた「地域づくり」だ。

#### 岩美町として学ぶ点や検討すべきこと

1. 傍聴したチーム永源寺の会議は、参加者の役割、立場の違いによる壁を感じさせない自由な雰囲気だった。

そこまでになるのに2〜3年かけている。発想の転換と取り組みの継続性が大事。

2. 地域医療は、地域で「医療を行う」ことではなく、医療を通じた「地域づくり」だ。岩美の自主防災組織づくりは、防災を通じた「地域づくり」だ。病院の地域医療と地

域の自主防災の取り組みは、地域のなかで同じ顔ぶれがやっていることであり、ネットワークができれば、地域づくりの力になる。

3. 「今いる人たちが何とか少子高齢化を乗り切ろう、幸せ感、生活の充実感を味わいながら生活をして、結果的に少子高齢化を乗り切ればそれでよいのではないかというのが我々の思いだ。」

「地域医療」といふことに専門職を増やすかという発想になるが、人を増やすよりもっと協力してくれる人たちがたくさんいた方が、うまく回れるというのが正直なところだ。

「地域のつながりがあるところに、病院が地域に出て行く取り組みをすれば、できるのではないかと思う。」

—この花戸医師の発言を受け止めることが、岩美の地域医療と自主防災の前進にとって、大切なことではないだろうか。そのため誰が、どんな役割を担うか、知恵を絞らなければならない。

#### 花戸医師の報告(要旨)

(1) 地域の「在宅医療」

永源寺診療所が担当している在宅患者は約80人、年齢は3歳から102歳、在宅看取りは年間25人から36人(地域の40%から50%)。

#### 調査の概要

永源寺診療所は、東近江市の旧永源寺町域にある公立国保診療所。対象人口は旧永源寺町域の5,800人、高齢化率33%。医師1人、看護師5人の無床診療所。

# 常任委員会行政調査

## 農業の担い手育成、就農定住の 取り組みを調査

調査日 28年10月27日

調査先 福井県若狭町

「かみなか農楽舎」

### 調査の目的

農業の担い手育成と就農定住の取り組みを学ぶ。

### 調査の概要

若狭町が、都市の若者を「農業・農村再生の担い手」とし、2年間の「就農定住研修事業」を立ち上げ、地元、民間企業、行政が協力・出資して立ち上げた『農業生産法人有限会社 かみなか農楽舎』が事業を担う。14年度から実施。42名がかみなか農楽舎を卒業。うち24名が新規就農者等として定住。

### 岩美町として学ぶ点や検討すべきこと

1. 「農地保全と後継者育成が地域活性化にとつて重要」との問題意識と熱意を行政が持ち続け、県外の若者が新規



かみなか農楽舎の取り組みの説明を受ける

就農者として定住する成果に実らせた。

岩美町の現状打開のためには、行政がビジョンと熱意をもってリーダーシップを発揮することが必要。

2. 岩美町で「かみなか農楽舎」のような形態は困難。専業にこだわらず、また若者にこだわ

らず、空き家への移住と結んで兼業で農業をする人、町内在住者の就農など、岩美町なりの受け入れの仕組みを検討することが大事。

3. 若狭町で研修事業につなげる取り組みとしている就業体験、農業や田舎暮らしの体験学習事業は、岩美町でも工夫できると思う。

地域で農業支援、生活支援に取り組むことは、移住者を集落・地域に受け入れていくための経験を積み重ねる機会になる。

## 道の駅の地元産品直売所を調査

調査日 28年10月28日

調査先 京都府南丹市日吉町道の駅スプリングスひよし

### 調査の目的

直売所における地元産品の販売等を調査し、「きなんせ岩美」の今後の前進のヒントを得ること。

### 調査の概要

道の駅に野菜、特産品の直売所（「彩花彩園」）を設置。設置者は市、第三セクターが指定管理者。

生産者は、市内109名、近隣町・府外5名、直売所の出荷者組織はない。手数料は20%。

### 岩美町として学ぶ点や検討すべきこと

1. 旧日吉町産の薪炭、食材活用のイベントで、地元産品の発信に取り組んでいる。岩美町においても、道の駅で地元産品を活用する機会をいっそう広げること。



道の駅スプリングスひよし内の特産品直売「彩花彩園」

売り切れる。イノシシ、シカの肉が人気商品になっている。

「あそこに行けばいいもの、珍しいものがある」と思ってもらえることは、リピーターになってもうための要素の一つ。こだわりの生鮮品や加工品をつくりあげることが必要。

祝 岩美町成人式



成人式実行委員の皆さんに聞きました



博田 幸樹さん (大岩)

僕が実行委員になった理由は2つあります。1つ目はみんなに楽しかったと思ってもらえるような成人式にしたかったからです。2つ目はチャレンジです。僕は今まで大きな式を運営する立場になったことがなく、これをきっかけに変わることができるのではないかと思ったからです。一緒に頑張ってくれた皆さん、本当にありがとうございました。



西川 智樹さん (岩井)

友達と今年の成人式を自分たちの手で盛り上げようと実行委員になりました。少ないメンバーながら企画などをさせていただいて、とても貴重な体験をさせていただきとても良い経験となりました。また、今年は中学生の時お世話になったたくさんの先生方に参加していただき、思い出話や現在の話など久しぶりにお話ができとても嬉しかったです。たくさん笑顔が多くみられた式だったと思うので、今回実行委員になって良かったと思いました。みんな！また集まろうで！ありがとうございました。



竹田 絢香さん (大岩)

『2016年版 住みたい田舎ランキング』で岩美町が第1位に選ばれたと知った時、とても誇らしい気持ちになりました。美しい自然や美味しい海の幸など自慢できる場所が多くあり、「岩美町生まれ」ということに誇りを持っています。そして今年、そんな素敵な町で共に成長した友人たちと成人の日を迎えることができました。いつまでも小さな子どもからお年寄りまで皆が幸せに暮らせる、そして自慢できる岩美町であり続けてほしいです。



澤 望美さん (大岩)

岩美町の好きなおとこ、それは自然がたくさんでどこかで平和なおとこです。そして、色々なイベントで賑やかになるおとこです。山と海に囲まれているので、美味しい山の幸や海の幸がたくさんあります。それらを調理してイベントで出店しているのを見かけた時、県外から来た観光客のみならずにも岩美町の良さが知ってもらえるのだと気づきとても嬉しく思いました。年々、人口が減っていている岩美町も、イベント等で良さを県外の方に伝えていき、住みたいと思ってもらえるような町になって欲しいと思います。



田淵 健太さん (浦富)

20歳になり、将来のことを考えることが増えました。20代には結婚し子供が欲しいです。友人の子供を見るようになり早く自分の子供の顔が見たくなりました。30代、40代には仕事をバリバリできるようになりたいです。家庭をしっかり守って子供の将来を広くするためにもしっかりと稼いでいきたいです。50代60代には孫を持ちたいです。そこでは一緒に遊んだりたくさんのお話を聞きたいです。そこからはまったりと過ごしたいと思えます。



岡田 淳士さん (大岩)

岩美町といえば豊かな自然、綺麗な海、地域の方々の優しさ、の三つが主な良い所だと思います。私は保育園から、小中高、そして大学生となった今もお長い間岩美町に住んでいます。そんな岩美の一番好きなおとこは、いつまでも変わらない緑豊かな大自然です。最近では日本一住みたい町としてランクインしたとか…嬉しい限りです。大学では県外の方とお話することが沢山あるので、岩美はこんな良い所だぞ！というのを伝えていきたいなと思っています。



博田 智帆さん (大岩)

私は岩美町が大好きです。特に好きなおとこは、地域の方が馴染みのある方言で声を掛けてくださるところ、まるで家族のように接してくださるところです。このような温かい繋がりのある岩美町は、いつも私を笑顔にしてくれました。今後は温厚篤実な大人を目指し、家族やお世話になった方々に恩返ししたいです。最後に、大好きな岩美町で成人式を迎えられたことは私の一生の誇りです。これからも皆に愛される岩美町が続くことを願っています。



議会だより調査特別委員会委員

|    |    |    |    |    |     |    |      |     |    |
|----|----|----|----|----|-----|----|------|-----|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員  | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議長 |
| 寺垣 | 杉村 | 宮本 | 川口 | 田中 | 日出嶋 | 柳  | 芝岡   | 田中  | 船木 |
| 智章 | 純一 | 耕司 | 伸吾 | 正敏 | 香代子 | 克美 | 祥一   |     |    |

35年ぶりの沖底漁船の事故。悲しみとやりきれなさのうちに、28年は幕を閉じました。ご遺族の方々に、心からお悔やみを申し上げます。それでも年はあらたまり、日々の生活は繰り返され、歴史は動いています。関係者の方々のご苦労は、これからも続くことでしょう。希望を燃やし夢をもち、歩みつつげたいと思います。悲しみは悲しみとして忘れずに……。田中克美

編集後記

35年ぶりの沖底漁船の事故。悲しみとやりきれなさのうちに、28年は幕を閉じました。